

パルde子育て

第8号 2015年 3月



たべる*たいせつキッズクラブ

子どもたちがみんな持っている食べる事への好奇心。

「いただきま〜す」「おいしいね」

5歳ぐらいから小学生を対象に、そんな子どもたちの食への好奇心を応援しているのが「たべる*たいせつキッズクラブ」です。

年に4回季節ごとのワークブック2冊が届いて家族と楽しく学びながら、毎日の生活の中での食べる楽しさや経験をお便りとして送ってくれています。また、実際に見学会に出かけたり、自分で料理するなどの体験をすることで、子どもたちのワクワクをさらに育てています。



モヤシの生産センターへ見学に行きました。モヤシが育つ様子を見せてもらって、実際に触ることもできました。種をもらって、家でも育ててみました。

キッズメンバーから楽しいお便りが届きます。サポーターは子どもたちが「食」に興味をもってもらえるようはげましのお返事を返します。



今年は、子どもたちのやる気を応援する企画として子どもだけでお料理をして、家族に食べてもらう「チャレンジ・クッキング」を3回開きました。サポーターに教えてもらいながら、切ったりまぜたり焼いたり、がんばりました。みんな、自分で作ったことに大満足！！ハラハラと見守っていたおうちの人も「いい経験」と、喜んでいただきました。

これからもお便りのやりとりや体験を通して、子どもたちが食べることの楽しさや大切さを実感しながら育っていくように、応援していきます。

パルちゃん広場 ぽっかぽか

子育て中の親と子が気軽に立ち寄り
手あそび、絵本を楽しんだり、おしゃべり

現在月に1~2回主に午前中に、4つの組合員会館・2つの組合員集会室・店舗集会室の7か所で開催しています。

参加者から広場スタッフになる人も多く、各広場それぞれの特徴を活かし、地域に根ざした広場づくりを進めています。

参加者さんに聞いてみました
~パルちゃん広場の魅力は？

ゆっくりできる
親も子も癒されます

親子とも楽しいひととき
を過ごすことができます

親子で友だちができた

地域の交流の場に

なっています

スタッフはみんな
やさしくて安心して遊べる

家では気づかなかった

子どもの成長を発見できた

子どももいろんな遊びを見つけ

てめいっぱい遊んでいます

おもちゃや部屋が清潔でうれしい

明るくてゆったりした雰囲気



スタッフの声

人と繋がることの大切さや
互いを尊重していくことを学ぶことができた

悩んだり迷ったりしているママが、

たくさんおしゃべりしてホッとしてくれたらうれしい

気が付けばスタッフになって月日が経ち、

参加者の笑顔や喜びが充実感になっていた

わが子も子どもスタッフとして大活躍!!

み・ん・な
de
子・育・て

“パルちゃん広場ぽっかぽか” ここでやってま〜す

【寝屋川】	【阿倍野】	【城 東】	【枚 方】	【守 口】	【つるみ】	【今 津】
寝屋川 組合員会館	阿倍野 組合員会館	城 東 組合員会館	枚 方 組合員会館	守 口 組合員集会室	つるみ店 組合員集会室	今 津 組合員集会室

木のおもちゃや絵本・温かいコーヒーを用意して待っています

くわしくは、ばるタイムやチラシをご覧ください

ホッとできる広場です。いろいろなおもちゃで遊んだり、
の花を咲かせるなど交流を深めています。

毎週火曜日と木曜日（祝日は除く）の10時~15時
城東組合員会館3階で開催しています

常設型子育て広場

パルちゃん広場すくすく

「すくすく」5周年イベント

2014年12月11日(木)

親子で人形劇を楽しんでもらおうと「人形劇団
なんじゃもんじゃ」をお招きして『すくすく5周年
記念イベント親子で楽しむ人形劇』を開催しました。

演目は、歌を中心とした「メロディパペット」と

キツネの兄妹が登場するお話「こんこちゃんのおつかい」でした。

知っている歌が流れると口ずさんだり、リズムに合わせて手をたたいたり。はじめて見る人形劇に、子どもたちは、目を輝かせて楽しんでいました。その様子をあたたかい眼差しで見守り、人形劇をいっしょになって楽しむお母さんの姿も印象的でした。

人形劇終了後は、すくすくスタッフによる『すくすく5周年お誕生会』に移りました。

手遊びが終わると、おおさかパルコープのパル子ちゃんとコープ共済のコーすけくんがお祝いに来てくれ、みんなびっくり!

パル子ちゃんとコーすけくんもいっしょにみんな楽しく体操をした後、パル子ちゃんとコーすけくんが、すくすくにプレゼントしてくれたペットボトルで作られた“ケーキ”が登場しました。包まれていた箱は、「すくすく5 t h おめでとう」と、裏側にむけると「HAPPY BIRTHDAY」の看板に早変わりし、あっ!と驚きました。

いつも広場に来てくれている参加者や始めてすくすくのことを知った参加者もいっしょになって、楽しい時間を過ごしました。

みんなで記念撮影



たくさんのスタッフが、知恵や力を寄せ合って育ててきた『パルちゃん広場すくすく』ですが、6年目の今では遊びに来るお母さんや子どもたちも広場にとって大切な存在となっています。新しい参加者に広場のシステムを話してくれたり、ランチ時の子ども用いすを並べてくれたり。子どもたちも元気な声としぐさで新しいお友だちを遊びに誘ってくれます。

リピーターの中には、第2子出産後、2か月も経たないうちに赤ちゃんを連れて遊びに来られる人もいます。家の中で二人の子どもと四六時中張りつめて過ごしている緊張感を、広場に来ることで少しほぐされている様子です。実家に帰ってきた様なホッとできる場所として喜ばれています

これからもお母さん、子どもたち、スタッフみんなの明るく楽しい声がす〜っと響く広場になりますようにと願っています。

子育てセミナーより

11月24日(月、祝)実施

大阪市立総合医療センター副院長
小児医療センター部長 原 純一先生

「小児病院からみた子どもたち」を聞いて

先生は、重い病気の子どもたちの治療にあたっておられます。その日々の経験から“子どものしあわせをみんなで考えましょう”と熱く語って下さいました。

小児がんなど幼い時期に長期間にわたり入院治療を受けなくてはいけない子どもたちは、家族と過ごせない、学校に行けないなどで“精神運動発達の遅れ”“社会性の欠如”“学力の遅れ”などが生じがちだそうです。そのために病院の先生方は子どもたちを「健やかな成人に成長させる」ことを目標に、日頃の入院生活の中で教育環境を整える・子ども同士の交流をさせる・保育の強化をするなど、専門家とともに子どもたちに関わっています。

子どもは自分の病気をきちんと知ることによって病気に立ち向かい、懸命に生きる力を持っているということを知り、その力を引き出し支援する大切さも感じました。

原先生の“病気を治すとともに子どもの人としての成長を手助けすることが大人たちの責任”というお話に、感動!!

子どもの貧困・虐待も、子どもの病気に大きく影響しているようです。

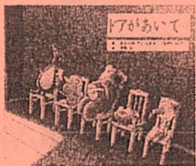
医者にかからず放置されたり、虐待で心身の病気やけがで来院する子どもの数が年々増えていきます。これは貧困家庭や生活保護世帯の増加に伴って、統計の数字にも出ているそうです。大人の貧しさが子どもの成長に影を落としているのです。虐待を見聞きしたら、疑いだけでも構わないので児童相談所などに通報してあげてください。迷っている間に取り返しのつかないことになるかもしれません。それが周りの大人の責任です。

一方、学習環境が悪くて学力がつかない、貧困のため進学ができないということも多くあります。貧しくてもきちんと教育を受けられるようにするのが国や社会の責任ではないでしょうか。

子どもは親だけのものではありません。社会の宝として社会の大人みんなで子どもを育てることが必要という原先生のメッセージをしっかり受け止めました。

「ドアがあいて…」

ほるぷ出版



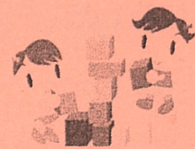
作：エルンスト・ヤンドゥル 訳：斉藤 洋
絵：ノルマン・ユンゲ

おもちゃ病院の待合室。

こわれたおもちゃたちがドアの向こうを気にしている。

ドアがあいて元気になって出てくるおもちゃ。それでも待っている患者(おもちゃ)たちは不安をぬぐえない。そのなんともいえない表現がページをめくるごとに変わっていく。きっとおもちゃも人の子も気持ちは一緒なんだなあ

絵本紹介



編集者のつぶやき

広場で子どもたちと積み上げたブロックが子どもの背丈より高く積みあがり感動!!

キッズクラブや広場活動～積み上げた成果に感動!!

なによりそこに参加した子どもたちの成長こそが一番の宝物

～ お問い合わせ先 ～

おおさかパルコープ組合同員活動サポートセンター

TEL 0120-299-244

FAX 0120-299-230

発行

2015年 3月

おおさかパルコープ

子育てサポートステーション